

位置づけ

- 金城ふ頭は、国際交流拠点として国際展示場の再整備によるコンベンション機能の強化、アミューズメント施設など都市機能の誘導を一体的に進める地区（総合計画、都市計画マスタープラン）
- エリア開発にあたっては、「ものづくり文化の継承・発展」をテーマに、世界の技術・情報・人々が交流する拠点の形成を目指す（モノづくり文化交流拠点構想）

開発の方向性

開発検討の視点

- ・ 文化・観光拠点に相応しい土地利用
- ・ 既存施設の更新や施設間の連携による相乗効果の創出
- ・ 利便性の高い交通網の活用
- ・ 港湾機能との調和

検討・調整内容

- ・ 金城ふ頭の交流・厚生用地全体を対象とした土地利用の再編
→ 集客性のある民間施設導入と施設再配置に係る合意形成
- ・ 港湾機能の発展と調和する交通処理
→ 物流交通と都市交通の分離及び歩車分離

主なプロジェクトの状況

レゴランド・ジャパン（①、①-2）

- ・ 幼児から小学生までの子供とその家族が主な対象
40を超えるアトラクションやショーを計画
- ・ 年間200万人の来場者を見込む。
- ・ 平成29年4月1日にグランドオープン予定
- ・ 拡張については、開業後、速やかに検討を進める予定



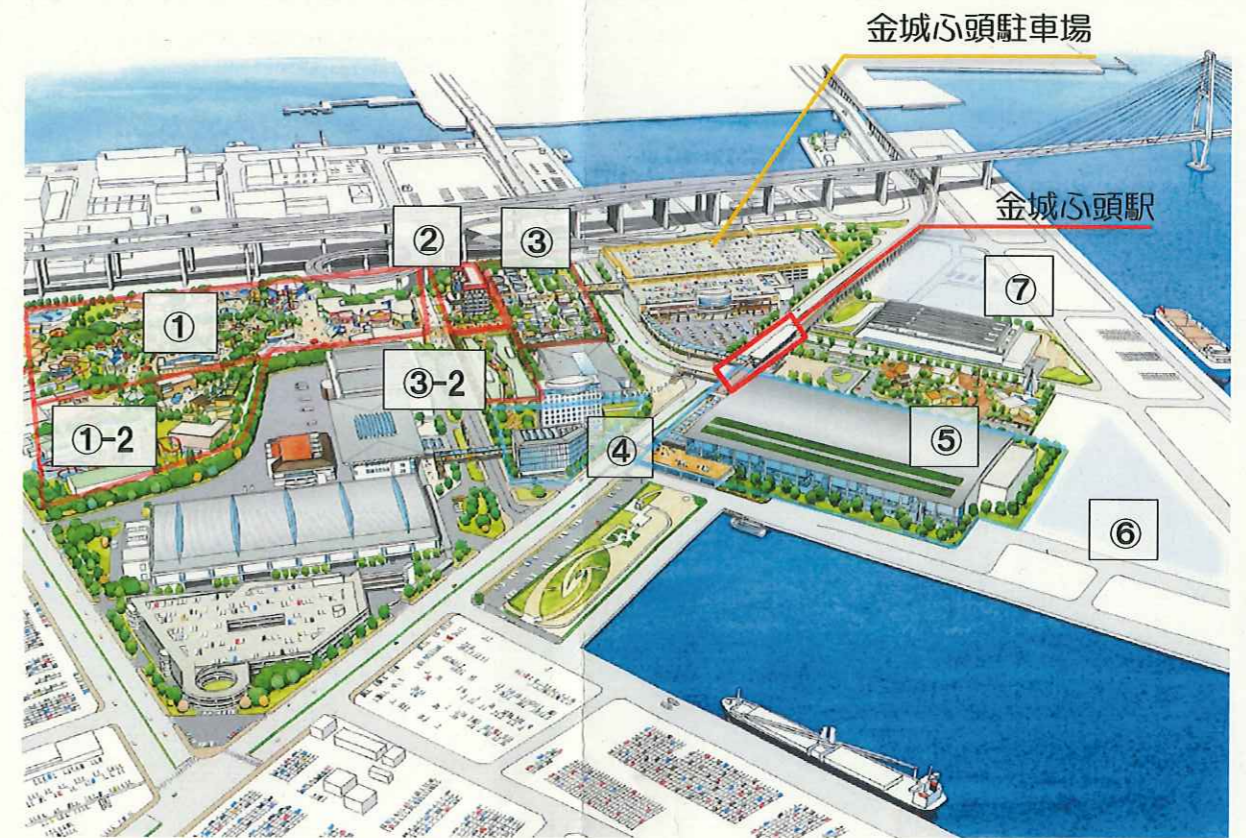
メイカーズピア<複合商業施設>（③）

- ・ 既存樹木を活用し、噴水や芝生広場を配置したオープンモール
- ・ 商業+飲食+エンターテイメントの複合空間。53店舗を予定（物販・サービスが約半分）
- ・ 平成29年3月30日にグランドオープン予定
- ・ 都市再生緊急整備地域の民間都市再生事業計画の認定（6月申請、8月認定）

国際展示場<ポートメッセなごや>新第1展示館（⑤）、ホテル・コンベンション（④）

- ・ 第1展示館については、老朽化、産業界からの要請の他、レゴランド拡張用地として利用することが決定しているため、PFI手法により、可能な限り期間短縮のうえ、移転整備を進める。
- ・ コンベンション施設についても、市が所有・運営することを前提に、新第1展示館とあわせて、検討中。
- ・ ホテルについては、新第1展示館、コンベンション施設の開発と連携して、民間が推進。

将来開発イメージ



都市開発事業

事業名	敷地面積 (ha)	実施主体	実施期間 (年度)
① レゴランド・ジャパン	9.3	マーリン社	平成29年度
①-2 レゴランド (拡張)	3.5		未定
② レゴランドホテル	0.8		平成29~30年度
③ メイカーズピア	2.4	GCDS・矢作地所	平成28年度
③-2 メイカーズピア (2期開発)	0.8		未定
④ ホテル	0.8	名古屋市	平成30年度
④ コンベンション	0.5		平成33年度
⑤ 国際展示場新第1展示館	4.4	民間事業者を想定	未定
⑥ 将来開発ゾーン (市有地)	4.6		未定
⑦ 将来開発ゾーン (市有地)	2.3		未定